

【公 開 版】

仙台市新墓園建設事業（第2期）に係る  
環境影響評価事後調査報告書（第13回）

令和7年4月～令和7年10月調査結果

令和8年1月

仙 台 市



## 目次

第1章 事業者の氏名及び住所 .....	1
第2章 対象事業の名称、目的及び内容 .....	1
第1節 事業の名称 .....	1
第2節 事業の種類 .....	1
第3節 事業実施の位置と現況 .....	1
第4節 事業の経緯 .....	1
第5節 事業の規模 .....	1
第6節 事業の目的 .....	2
第7節 事業の内容 .....	5
第3章 対象事業が実施される区域 .....	13
第4章 対象事業に係る評価書に記載された関係地域の範囲.....	13
第5章 対象事業に係る工事の進捗状況又は対象事業に係る土地若しくは工作物の供用の状況.....	15
第6章 環境の保全及び創造のための措置の実施状況.....	16
第7章 事後調査計画（全体計画） .....	18
第8章 事後調査の項目、手法及び対象とする地域、事後調査の結果.....	21
第1節 植物 .....	22
第2節 動物 .....	42
第9章 追加的環境保全措置等の検討 .....	50
第10章 事業の実施主体 .....	51
第11章 事後調査の委託先の氏名及び住所 .....	51

## 資料編 目次

a) 評価書に記載した事後調査計画 .....	資料 1
-------------------------	------



## 第1章 事業者の氏名及び住所

氏名：仙台市  
住所：宮城県仙台市青葉区国分町3丁目7番1号  
電話番号：022-261-1111（代表）  
代表者：郡 和子

## 第2章 対象事業の名称、目的及び内容

### 第1節 事業の名称

仙台市新墓園建設事業（第2期）

### 第2節 事業の種類

墓地又は墓園の造成の事業

### 第3節 事業実施の位置と現況

本事業の実施区域（以下「第2期事業区域」という。）の位置は、図2-1及び写真2-1に示すとおりであり、仙台市泉区朴沢字九ノ森地内で大和町との境界近くに位置している。第2期事業区域は、仙台市中心部からは約21km、地下鉄泉中央駅からは約16kmの距離にある。車でのアクセスルートは国道457号である。公共交通機関は、市営路線バスがお盆、彼岸及び日祝日に泉中央駅からいずみ墓園まで1日2往復運行している。

### 第4節 事業の経緯

本事業の環境影響評価書公告後の経緯は以下のとおりである。

- ・環境影響評価書及び要約書の公告 平成23年2月28日
- ・事後調査報告書（第1回）の公告 平成24年7月31日
- ・事後調査報告書（第2回）の公告 平成25年6月10日
- ・事後調査報告書（第3回）の公告 平成26年6月12日
- ・事後調査報告書（第4回）の公告 平成27年4月9日
- ・事後調査報告書（第5回）の公告 平成28年2月26日
- ・事後調査報告書（第6回）の公告 平成29年4月28日
- ・事後調査報告書（第7回）の公告 令和元年5月9日
- ・事後調査報告書（第8回）の公告 令和2年5月1日
- ・事後調査報告書（第9回）の公告 令和3年7月16日
- ・事後調査報告書（第10回）の公告 令和4年11月11日
- ・事後調査報告書（第11回）の公告 令和5年12月15日
- ・事後調査報告書（第12回）の公告 令和6年10月16日

### 第5節 事業の規模

事業の規模は表2-1に示す。全体計画のうち第2期事業区域の面積は39.01haであり、このうちの改変面積は11.95haである。なお、改変面積については、評価書から2回変更が加えられており、以下は変更後の内容を示す。

表2-1 事業の規模

区域	面積(ha)	割合(%)	改変面積(ha)	割合(%)
第1期事業区域（整備済）	29.3	11.0	15.7	31.4
<b>第2期事業区域</b>	<b>39.01</b>	<b>14.7</b>	<b>11.95</b>	<b>23.9</b>
第3期事業区域（計画）	197.7	74.3	22.3	44.6
事業区域全体	266.01	100.0	49.95	100.0

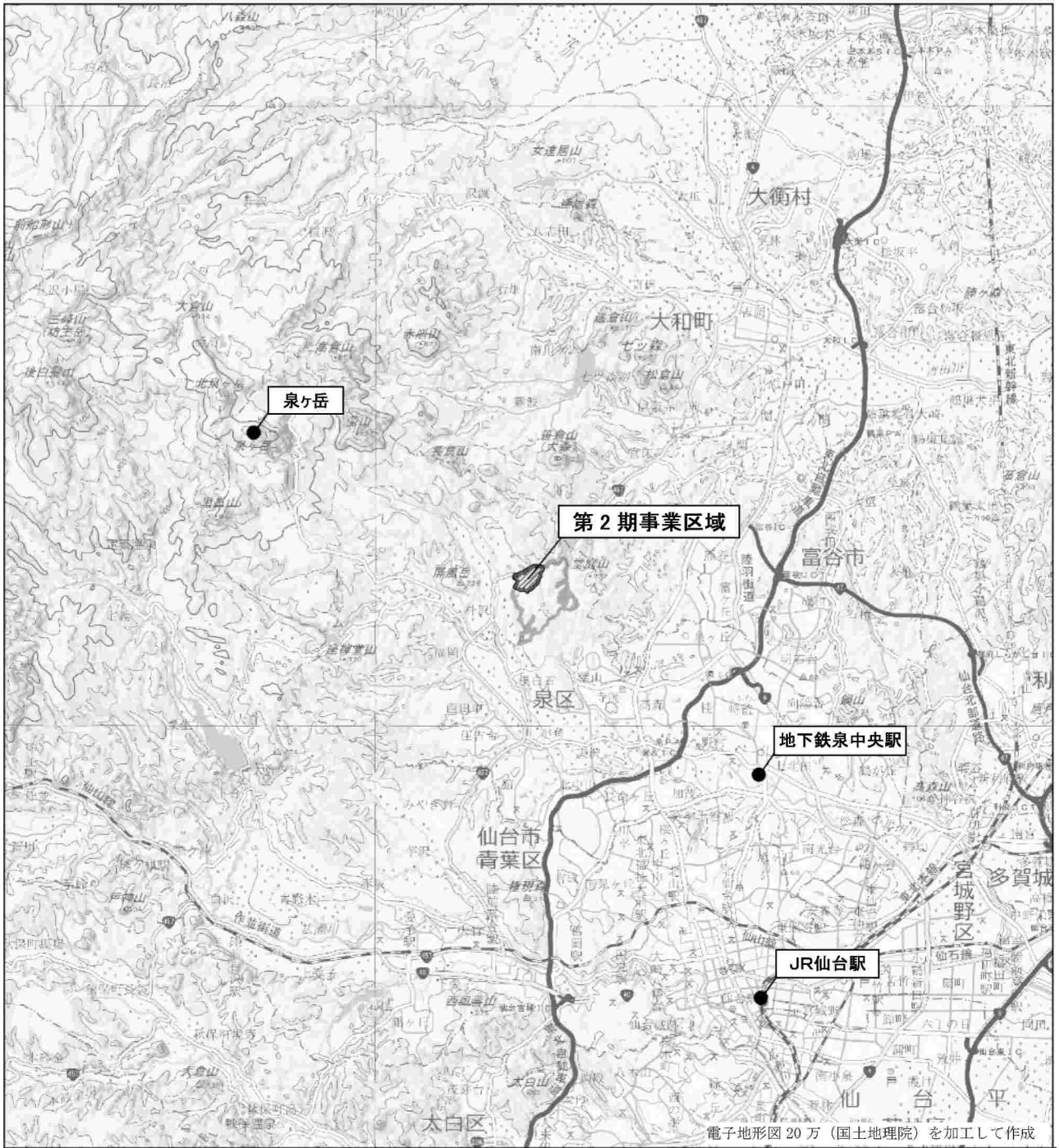
※割合は少数第2位以下を四捨五入しているため、表中の数値を合計しても100%にならない。

## 第6節 事業の目的

仙台市では、平成元年政令指定都市への移行後、市民墓地の需要が年々増加し、既存の市民墓地での供給ができなくなる状況にあることから、墓地をめぐる環境の変化に対応する墓地行政を行うための基本的な方向・施策等について、平成3年9月に市民代表や学識経験者等による「仙台市墓地問題懇談会」を設置し、検討を重ねてきた。


その結果、『市民墓地の理念は、生きている人間と死者の関係だけではなく、生きてゆく人間が心配しないで生きられ、そして、安心して死ぬという、つまり生きてゆく人間の活動の源になる社会福祉の観点で捉えるべきである。このようなことから、宗教の違いなどを問わず、平等かつ、安価で公平に墓地を希望者に提供することは、“ゆりかごから墓場まで”という社会福祉の理念を全うするものであり、今後も市民墓地の需要に対して供給を継続して行くべきである。そのためには、新規に墓園を整備することが必要である。』という提言を受けて、泉区朴沢地内に計画供給基数50,000基を整備する全体計画を立案し、平成11年に第1期整備事業を着手、平成13年から貸出を開始した。


本事業は、今後も市民に安定した墓地の貸出ができるよう第2期整備を行うものである。



電子地形図 20 万（国土地理院）を加工して作成

凡例

 第2期事業区域

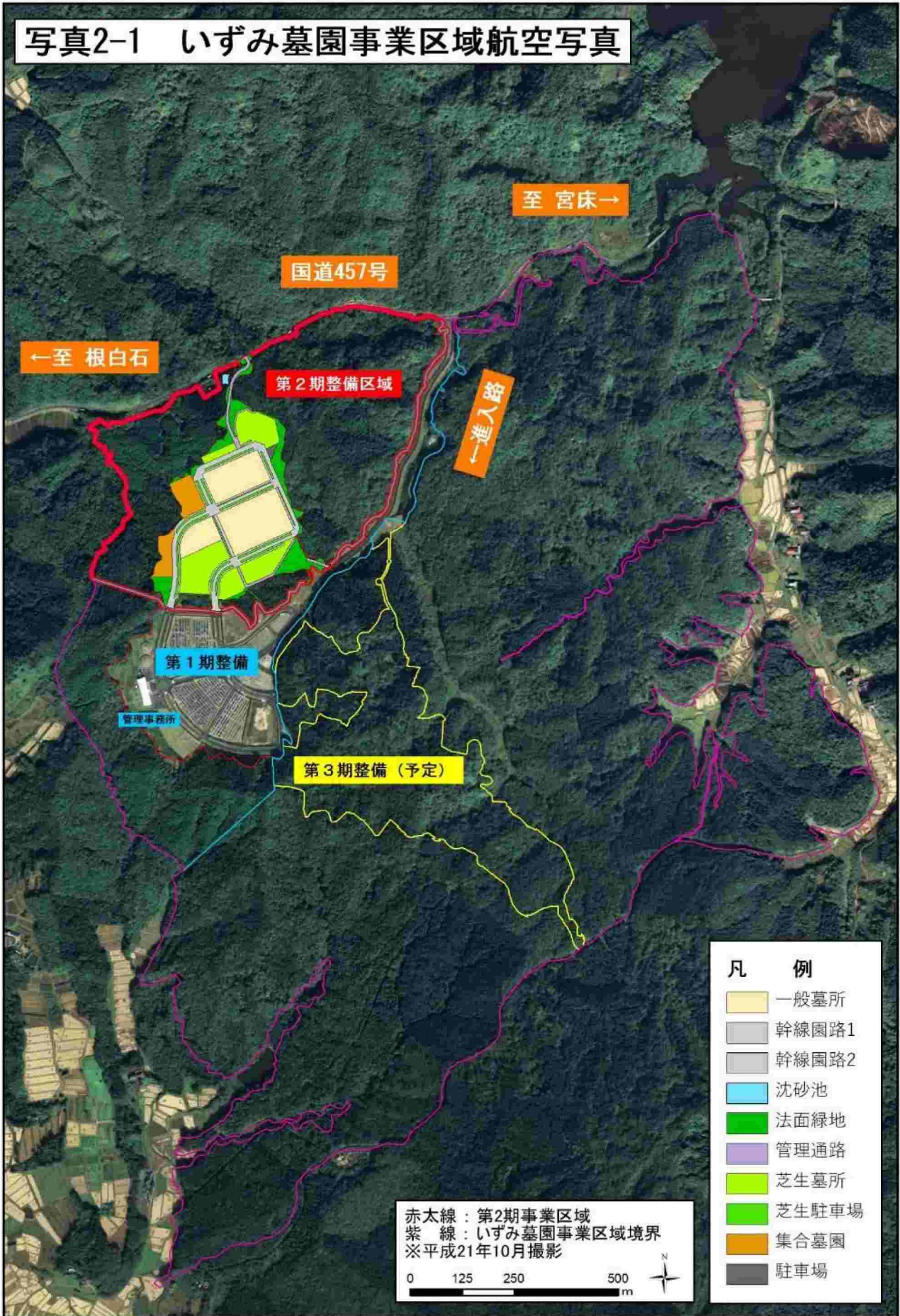
 いずみ墓園

0 1,500 3,000 6,000 m



図 2-1 第 2 期事業区域位置図

写真2-1 いずみ墓園事業区域航空写真



## 第7節 事業の内容

### 1. 土地利用計画

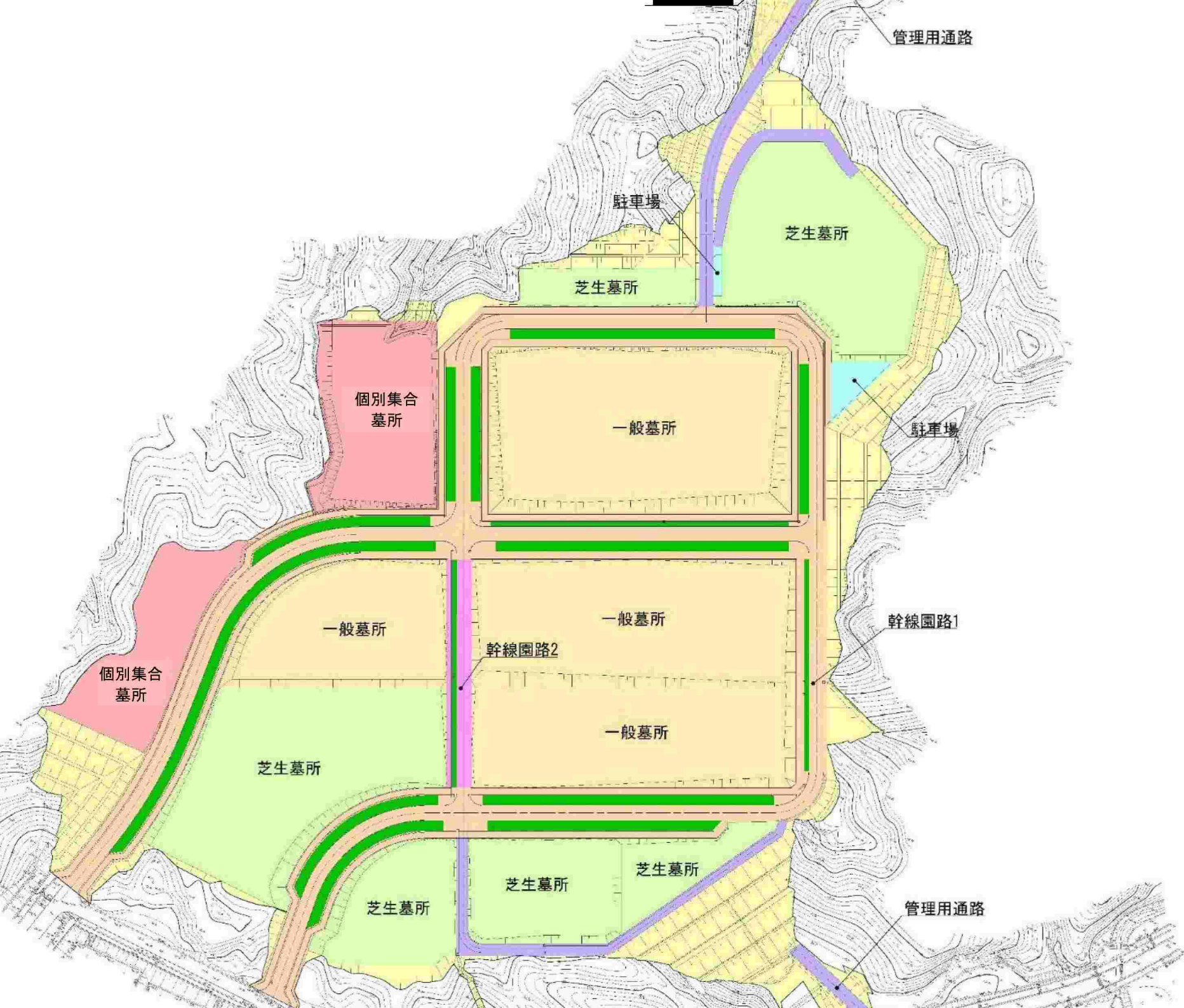
第2期事業区域の土地利用計画を表2-2及び図2-2に示す。また、各施設の面積を表2-3に示す。

表2-2 第2期事業区域の土地利用計画

土地利用用途		面積 (ha)	構成比 (%)
うち	改変面積	11.95	30.6
	墓域	7.03	18.0
	道路	2.4	6.2
	駐車場	0.72	1.8
	法面緑地	1.76	4.5
	仮設沈砂池	0.04	0.1
自然緑地		27.06	69.4
合計		39.01	100.0

表2-3 施設別面積

名称	面積 (ha)	備考
一般墓所	3.43	-
個別集合墓所	0.89	-
芝生墓所	2.71	-
法面	1.76	-
駐車場	0.05	-
芝生駐車場	0.67	-
管理用道路	0.39	-
幹線園路1	1.9	-
幹線園路2	0.11	-
仮設沈砂池	0.04	-
合計	11.95	-



凡 例	
名 称	面積 (㎡)
一般墓所	
個別集合墓所	
芝生墓所	
法面	
芝生停車場	
管理用通路	
幹線園路1	
幹線園路2	
駐車場	
計	

## 2. 墓域計画

墓域の計画基数は表 2-4 に示す。

表 2-4 墓地の形状別計画基数

種 別	基 数
従来型（一般墓所）	3,609
芝生型（芝生墓所）	5,361
新形式（個別集合墓所）	5,966
合 計	14,936

※1 計画基数は事業計画変更後の基数を示す。

※2 写真はいずれも供用中の第2期事業区域のもの  
(令和2年8月10日撮影)



## 3. 計画墓参車両台数及び墓参人数

第2期事業区域の貸出は、令和45年度に終了すると想定している。令和45年度の計画墓参車両台数と計画墓参人数は、計画基数及び平成20年度の測定結果から、表2-5に示すように推定した。

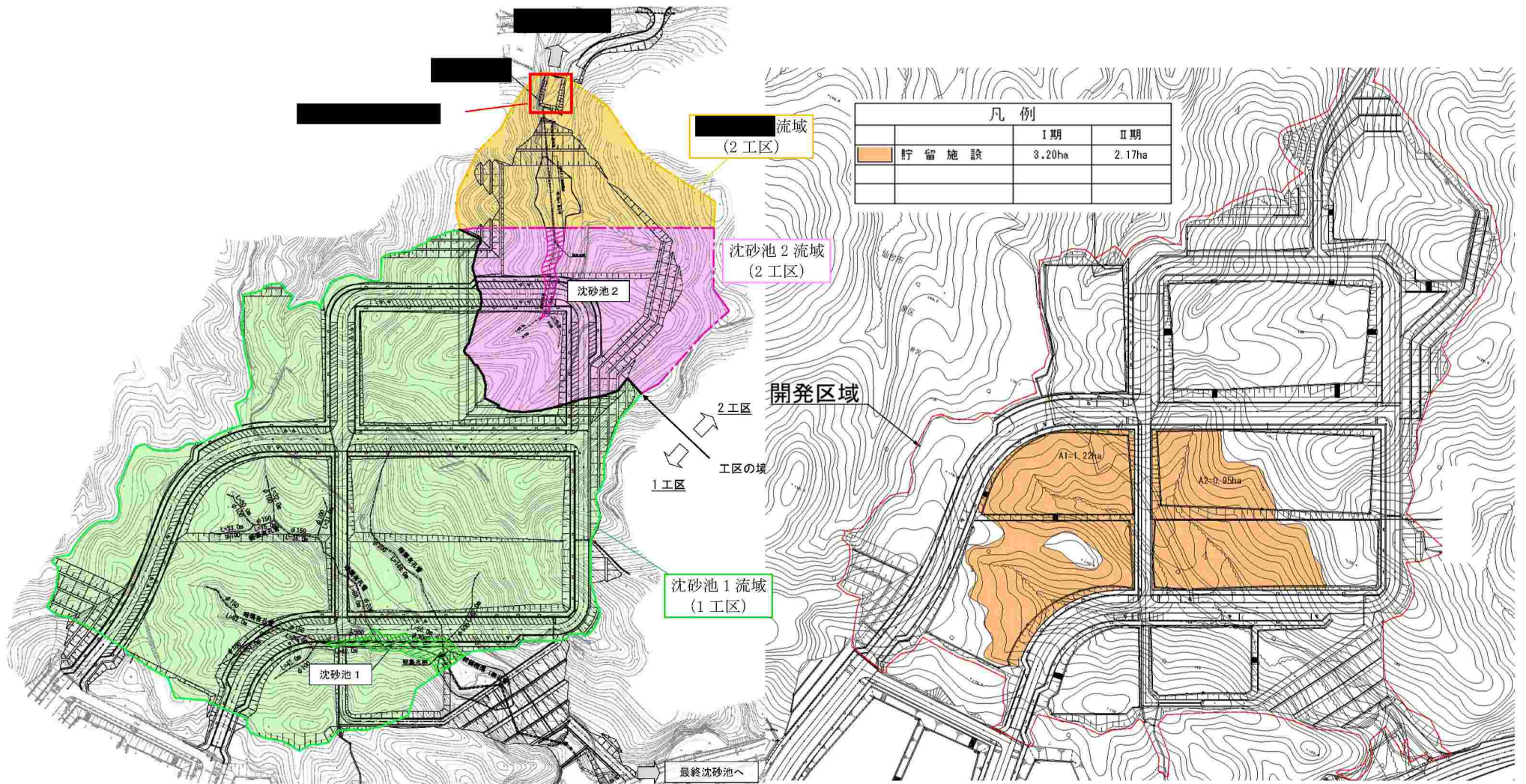
表 2-5 計画墓参車両台数及び墓参人数（令和45年度）

項目	第2期事業区域のみ		第1期・第2期合計	
	ピーク時(春彼岸)	平常時	ピーク時(春彼岸)	平常時
計画墓参車両台数	3,980 台/日	158 台/日	7,494 台/日	274 台/日
計画墓参人数	11,328 人/日	205 人/日	21,329 人/日	356 人/日

## 4. 交通道路計画

道路は幅員 24m の幹線園路 1 と幅員 11m の幹線園路 2、管理道路を設置する。駐車場は路傍駐車形式（駐車帯）と集約形式の駐車場を設置する。





※2 期整備 1 工区造成時の図面を使用

図 2-3 仮設沈砂池 (左)・調整池 (右) の位置

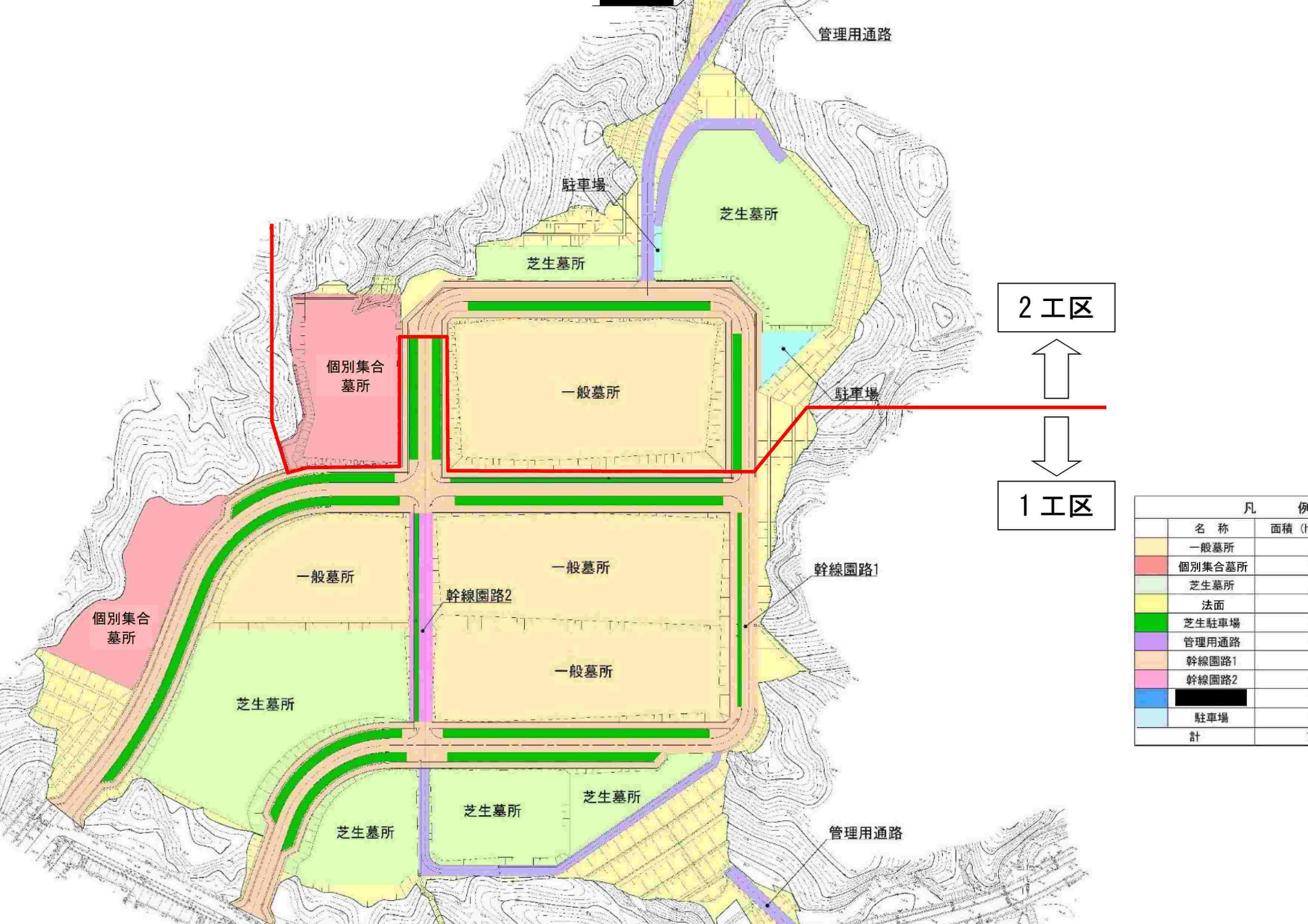
## 9. 整地計画

土工量は1工区と2工区合計の切土量約44.5万 $\text{m}^3$ 、盛土量約44.9万 $\text{m}^3$ 、墓所を貸し出すための準備工事である区画割工事で発生する土量が約0.4万 $\text{m}^3$ （土量の変化率による補正後の数値）と予測され、搬出入する土砂は発生しない計画である。

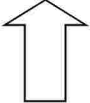
法面勾配は、切土法面1:1.0、盛土法面1:2.0を計画しており、斜面安定検討の結果、計画安全率（常時1.2、地震時1.0）以上の最小安全率が確保される。

## 10. 工区計画

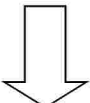
第2期事業に係る施工は、1工区と2工区に分けて時期をずらして実施する。工区区分図は、図2-4に示す。



2 工区



1 工区



凡 例	
名 称	面積 (㎡)
一般墓所	
個別集合墓所	
芝生墓所	
法面	
芝生駐車場	
管理用通路	
幹線園路1	
幹線園路2	
駐車場	
計	

### 1 1. 工程計画

事業の工程は、表 2-6 に示すとおりである。  
令和 7 年度は、貸出の募集と区画割工事を実施している。

表 2-6 事業工程

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 31/ 令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
1 工区造成工事		■	■	■			
1 工区設備工事			■	■			
1 工区区画割工事及び貸出				■	■	■	■
2 工区造成工事					■	■	
2 工区区画割工事及び貸出							

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 45 年度
1 工区造成工事							
1 工区設備工事							
1 工区区画割工事及び貸出	■	■	■	■	■	■	■
2 工区造成工事							
2 工区区画割工事及び貸出	■	■	■	■	■	■	■

※区画割工事：墓所を貸し出すため、区画ブロックや納骨ますを設置する工事を示す。

※2 工区の工事ピークを赤色（■）で着色して示した。

※2 工区では設備工事は殆ど実施していないため、項目出しはしていない。

※区画割工事を実施せず、貸出の募集のみを実施している年度はうすだいたい色（■）に着色して示した。

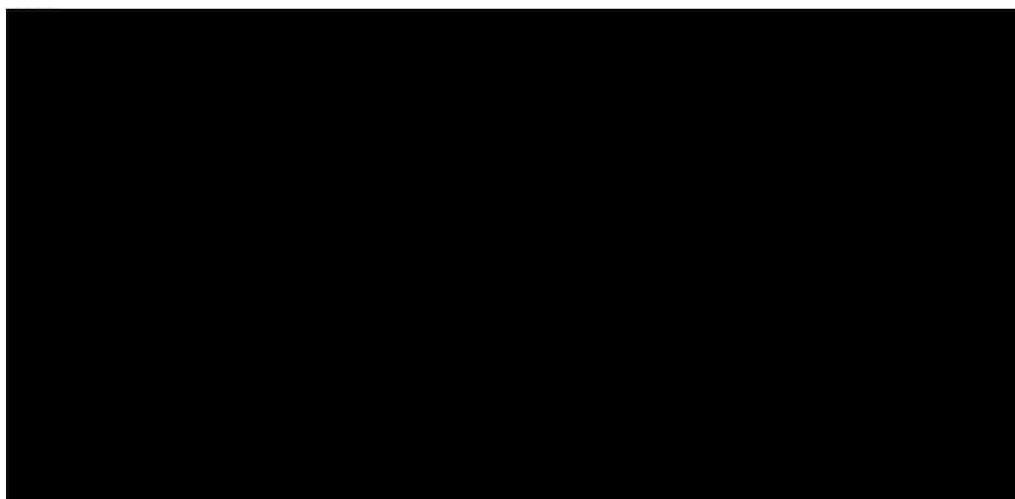


図 2-5 いずみ墓園第 2 期貸出予測

### 1 2. 管理計画

保守管理は定期的な見まわり点検と緊急時の特別点検を行う。  
安全管理は、利用案内、広報広告、利用指導、救急、救護を行う。  
植栽木の維持管理は、生育状態に対応した管理を行う。

### 1 3. 廃棄物処理計画

供花・供物、管理事務所の一般廃棄物、刈草・剪定枝、し尿・汚水のそれぞれについて、許可業者への委託等により適正に処理する。

### 第3章 対象事業が実施される区域

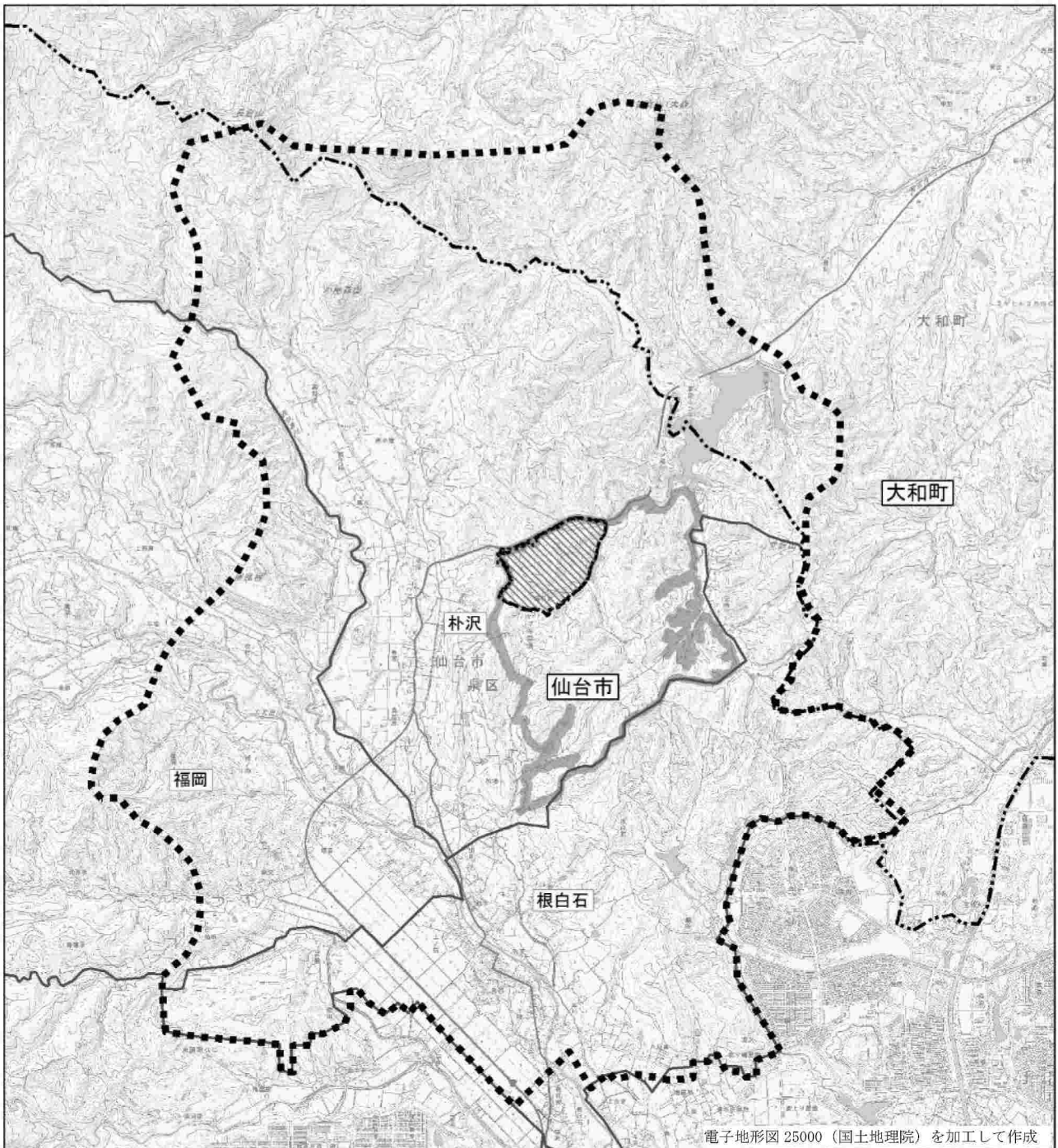
本事業の実施区域（以下「第2期事業区域」と呼ぶ。）の位置は、図4-1に示すとおりであり、仙台市泉区朴沢字九ノ森地内にあり、大和町との境界近くに位置している。

### 第4章 対象事業に係る評価書に記載された関係地域の範囲


関係地域の範囲は、表4-1及び図4-1に示す。

表4-1 関係地域

住 所
泉区朴沢の一部
泉区福岡の一部
泉区根白石の一部
大和町宮床ダムの流域



凡例

-  第2期事業区域
-  関係地域
-  市町界
-  字界
-  いずみ墓園

0 400 800 1,600 m



図 4-1 関係地域の範囲

第5章 対象事業に係る工事の進捗状況又は対象事業に係る土地若しくは工作物の供用の状況

これまでの本事業の進捗状況は、表 5-1 のとおりである。

1 工区の状況は写真 5-1、2 工区の状況は写真 5-2 のとおりであり、一部区画で貸出を開始している。

2 工区造成工事に含まれる緑化工は、令和 3 年 2 月までの実施となった。

令和 7 年 12 月現在、土工事、緑化工等は終了しており、令和 7 年度は貸出の募集と区画割工事を実施している。

表 5-1 本事業の進捗状況

	平成 30 年度	平成 31/ 令和元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	
1 工区区画割工事 及び貸出	■			■					
2 工区造成工事	■		■						
2 工区区画割工事 及び貸出					■			■	

※赤枠 (■) : 令和 7 年度に実施された工事

※青枠 (■) : 令和 2 年度以前に実施済で調査対象となった期間の工事 (土工を伴う 2 工区の造成工事は令和元年までに終了し、植栽及び補足的な工事を令和 2 年に実施している)

※緑枠 (■) : 2 工区の造成工事期間ではあるものの、令和元年には土工を伴う 2 工区の造成工事は既に終了しているため、一部工事後の調査を実施している期間。

※区画割工事 (墓所を貸し出すため、区画ブロックや納骨ますを設置する工事) を実施せず、貸出の募集のみを実施している年度はうすだいたい色 (■) に着色して示した。

表 5-2 各工区の貸出 (整備済) 数 (令和 7 年度現在)

	整備 (予定) 数	貸出 (整備済) 数	割合
1 工区	8,270	4,469	54.04%
2 工区	6,666	678	10.17%
合計	14,936	5,147	34.46%



写真 5-1 第 2 期事業区域 1 工区の状況 (令和 2 年 8 月 10 日撮影)



写真 5-2 第 2 期事業区域 2 工区の状況 (令和 5 年 7 月 24 日撮影)

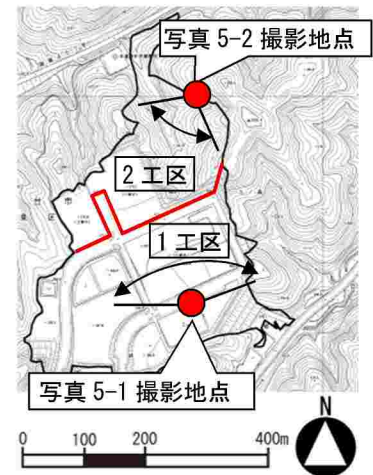


図 5-1 写真撮影位置

※右図は「仙台市都市計画基本図 1:2500 図郭 X-QD09-1 (平成 28 年修正)」を使用 (縮小) して作成した。

## 第6章 環境の保全及び創造のための措置の実施状況

評価書に記載した環境保全措置のうち、令和7年度に実施した環境保全措置は、表6-1に示すとおり供用後の実施項目とした。令和7年度は、区画割工事を実施していたが、工事中の環境保全措置は造成工事を対象としており、区画割工事は対象としていないため報告は不要とした。

各項目の実施状況は以下のとおりである。

表6-1 本報告期間に実施した環境保全措置

時期	実施内容	実施状況
供用後	①ピーク日の開園時間の延長 ②-1 アイドリングストップの啓発 ②-2 供花、供物の持ち帰りの啓発 ③-1 除間伐、下刈り等の森林管理 ③-2 除間伐材の集積による生息環境の創出 ④仮設沈砂池、止水域bの維持・管理（環境保全措置）	①毎年実施 ②-1 毎年利用ピーク時に実施 ②-2 毎年実施 ③-1 残置森林で毎年場所を変えて実施 ③-2 毎年除間伐を実施する区域で実施 ④毎年保全環境の維持確認の実施

※丸数字は、以下の見出しと対応する

### ①. ピーク日の開園時間の延長

墓参車両の通行に伴う大気汚染及び騒音の影響を低減するため、お盆や彼岸の利用ピーク日は墓参車両が集中しないよう、通常よりも開園時間の前後を60分延長し、7:30開門、17:30閉門とした。



写真6-1 ピーク日の開園時間の延長の状況（令和6年3月16日撮影）

### ②. アイドリングストップの啓発、供花・供物の持ち帰りの啓発

温室効果ガスの低減のため、お盆や彼岸の利用ピーク日にはエンジンをかけたまま駐車している車などに、「駐車中はエンジンを止めてください」と声かけを行うなど、アイドリングストップを啓発した。また、廃棄物発生量の低減のため、供花・供物の持ち帰りについて、園内放送を行うとともに園内案内板への掲示を行った。

③. 除間伐、下刈り等の森林管理・除間伐材の集積による生息環境の創出

生態系への影響の低減、廃棄物発生量及び温室効果ガス排出量の低減のため、残地森林において下刈りを実施するとともに、除間伐材を森林内に集積し、小動物の生息場所を創出した。



写真 6-2 下刈り作業の状況（令和 7 年 11 月 20 日撮影）



写真 6-3 除間伐材の状況（令和 7 年 12 月 16 日撮影）

④. [REDACTED] の維持・管理（環境保全措置）

[REDACTED] は、[REDACTED] としても利用できるよ  
う、[REDACTED] 維持・管理を行っている。

注目すべき種の生息・生育場所が特定できる情報は、マスキングあるいは非表示としました。

写真 6-4 左：[REDACTED]、右：[REDACTED] の状況  
（左：令和 7 年 5 月 9 日、右：令和 7 年 5 月 28 日撮影）

**第7章 事後調査計画（全体計画）**

評価書に示した事後調査計画の概要は、表 7-1 に示すとおりであり、事後調査全体のスケジュールは 19 頁～20 頁に示す表 7-2 のとおりである。

表 7-2 では「工事（工事終了後も含む）」は工事による影響を把握するための調査、「存在」は存在による影響を把握するための調査、「工事・存在」「存在・供用」は工事及び供用による影響と存在両方の影響を含むもの、「供用」は工事後の供用による影響を把握するための調査として整理した。

事後調査項目別の事後調査計画の内容は、資料編 p. 1～15 に示すとおりである。

今回の調査は、当初の事後調査計画に位置付けられたものではなく、令和 5 年度の事後調査において事業影響の可能性が示唆された植物と動物を対象に、追加で調査を実施したものである。

植物については、令和 5 年度の事後調査にて未確認または個体数が減少していた「注目すべき種」を対象に、生育位置、個体数、生育状況等を確認するために再調査を実施したものである。なお、環境保全措置として、令和 6 年度に [ ] の環境改善対策を実施したうえで調査を行っている。

動物については、令和 5 年度の事後調査にて未確認であった「注目すべき種(両生類)」について、確認位置、生息状況等を確認するために再調査を実施したものである。また、審査会にて指摘された外来種であるウシガエル・ミシシippアカミミガメについても確認位置、生息状況等の確認を行った。

**表 7-1 事後調査計画の概要**

【工事】（工事終了後も含む）		【供用】	
大気質	資材運搬 二酸化窒素・浮遊粒子状物質 重機稼働 二酸化窒素・浮遊粒子状物質 粉じん	大気質	墓参車両 二酸化窒素・浮遊粒子状物質
騒音	資材運搬 騒音レベル 重機稼働 騒音レベル	騒音	墓参車両 騒音レベル 放送設備 騒音レベル
交通量	資材運搬車両 台数	交通量	墓参車両 台数
振動	資材運搬 振動レベル 重機稼働 振動レベル	振動	墓参車両 振動レベル
水質	浮遊物質(SS)・流量	水質	BOD、窒素、リン
水象	[ ] の水生動物の状況 [ ] の水位 [ ] の状況 湧水の状況 水源地の改変の状況	水象	河川流量 水系の状況
植物	移植を行った種の定着状況 [ ] の希少植物生育状況 イトモの [ ] への再導入 カヤランの生育状況	廃棄物等	枯れ花、刈草等処理量、 管理事務所の便所利用状況、 第 2 期事業区域のし尿処理状況
動物	猛禽類の生息状況 注目すべき生息地 両生類・水生昆虫 移植を行った種の定着状況 [ ] の水生動物 魚類・水生動物	温室効果ガス	環境保全措置の実施状況
自然との触れ合いの場	利用状況		
廃棄物等	伐採木処理状況		
温室効果ガス	資材運搬車両 環境保全措置の実施状況 重機稼働 環境保全措置の実施状況 吸収量の減少 伐採・植栽の実施状況		
【工事・存在】		【存在・供用】	
地形・地質	法面の施工状況・法面の状況	植物	植物相及び注目すべき種の生育状況 植生及び注目すべき群落の生育状況、 法面の状況 [ ] での水生植物の生育状況 森林等の環境保全機能
		動物	動物相及び注目すべき種の生息状況、 法面の状況
		生態系	タヌキ・テンの生息状況 コナラ群落の林床環境
【存在】			
景観	2 工区管理用道路入口景観		
景観	主要眺望地点景観		



工事（工事終了後含む）	騒音 資材運搬 騒音レベル	当初								資材運搬ピーク（1工区）の平成25年度3月12月に1回、朴沢集会所と管理事務所2地点
	騒音 重機稼働 騒音レベル	当初								重機稼働ピーク（1工区）の平成24年度3月10日に1回、管理事務所1地点
	交通量 資材運搬車両 台数	当初								資材運搬ピーク（1工区）の平成25年度3月12日に1回、朴沢集会所と墓園入口2地点
	振動 資材運搬 振動レベル	当初								資材運搬ピーク（1工区）の平成25年度3月12日に1回、朴沢集会所と管理事務所2地点
	振動 重機稼働 振動レベル	当初								重機稼働ピーク（1工区）の平成24年度3月10日に1回、管理事務所1地点
	水質 浮遊物質量SS・流量	当初								1工区造成工事中の平成24年度に3回1回、造成工事後の平成25年度に1回、2工区造成工事中の平成31年度/令和元年度に2回、造成工事後の令和2年度に4回2回、降雨時に1工区3地点、2工区5地点 工事影響の確認のための調査回数を増加。
	水象 〇〇〇〇の水生動物の状況	当初								※水生動物調査結果を活用
	水象 〇〇〇〇の水位	当初								1工区工事前の平成23年度から5年間、毎月1回
	水象 〇〇〇〇〇〇〇〇の状況	当初								1工区工事中の平成24年度から5年間、夏季に1回 〇〇〇〇〇〇〇〇、工事終了3年後の令和5年度に1回 〇〇〇〇〇〇〇〇
	水象 湧水の状況	当初								1工区工事前の平成23年度と工事後の平成26年度の4季、各季1回
水象 水源地の改変の状況	当初								工事終了後の令和3年度に1回、工事完成書類により確認	
植物 移植を行った種の定着状況	当初								1工区工事前の平成23年度に移植、平成24年度、平成26年度、平成28年度、春季に1回	
植物 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の希少植物生育状況	当初								1工区工事中の平成24年度、平成26年度、平成28年度、春季に1回	
植物 イトモノ〇〇〇〇〇〇への再導入	当初								1工区工事前の平成23年度に仮移植、平成24年度に生育状況確認。工事後の平成26年度に元生育地に再導入。平成26年度、平成28年度に生育状況確認、いずれも夏季に実施	
植物 カヤランの生育状況	当初								1工区工事中から工事後の平成24年度、平成26年度、平成28年度、春季に1回	
動物 猛禽類の生息状況	当初								1工区工事前の平成23年から工事後の平成26年、2工区工事前の平成30年から工事後の令和3年、4月～7月、月2日×2地点	
動物 注目すべき生息地 両生類・水生昆虫	当初								1工区工事中の平成24年度、工事終了後の平成26年度、平成28年度、春季に1回 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇、工事終了3年後の令和5年度 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
動物 移植を行った種の定着状況	当初								1工区工事前の平成23年度春季に移植、平成24年度、平成26年度、平成28年度、春季に1回（モリアオカエルのみ初夏）	
動物 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の水生動物 魚類・水生動物	当初								工事影響および状況把握のための令和4年度、1工区工事中の平成25年度と工事後の平成26年度、2工区工事中の令和2年度と工事後の令和3年度、春季に1回、〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
自然との触れ合いの場 いずみ墓園の利用状況、予測地点へのアクセスの状況	当初								1工区工事中の平成25年度、2工区工事中の令和2年度、夏季にいずみ墓園、春季と秋季にあさひな湖畔公園と光明の滝	
廃棄物等 伐採木処理状況	当初								1工区伐採終了後の平成24年度、2工区伐採終了後の平成31年度/令和元年度、工事完成書類により確認	
温室効果ガス 資材運搬車両 保全措置の実施状況	当初								資材運搬ピーク（1工区）の平成25年度に1回、工事完成書類により確認	
温室効果ガス 重機稼働 保全措置の実施状況	当初								重機稼働ピーク（1工区）の平成24年度に1回、工事完成書類により確認	
温室効果ガス 吸収量の減少 伐採・緑化状況	当初								1工区工事終了後の平成26年度、2工区工事終了後の令和2年度、工事完成書類により確認 工事の進捗に応じて調査時期を見直し	
工事・存在	地形・地質 法面の施工状況・法面の状況	当初								1工区工事中の平成24年度と工事後の平成25年度、2工区工事中の平成31年度/令和元年度と工事後の令和2年度に各1回、工事完成書類により確認 調査時期の見直しを実施。
	景観 工事用2工区管理用道路入口景観	当初								2工区工事後の平成31年度/令和元令和3年度、夏季と冬季に各1回
存在	景観 眺望変化の程度	当初								工事終了後の令和3年度、夏季、冬季に各1回、倉倉山、園連457号、管理事務所3地点
	植物 植物相及び注目すべき種の生育状況	当初	■	■	■					工事終了3年後の令和5年度、早春、春季、夏季、秋季に各1回 令和5年度調査で未確認等となった影響が想定される注目すべき種等の再調査として令和7年度、早春季、春季、夏季、秋季に各1回
存在・供用	植物 植生及び注目すべき群落、法面の植生の状況	当初								工事終了3年後の令和5年度、早春、夏季に各1回
	植物 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇での水生植物の生育状況	当初								工事終了3年後の令和5年度、春季、夏季、秋季に各1回
	植物 森林等の環境保全機能	当初								※植物相調査時に現地確認する。また、水質、水象の調査結果を活用する。
	動物 動物相及び注目すべき種の生息状況、法面の利用状況	当初	■	■	■					工事終了3年後の令和5年度、春季、初夏（鳥類、ホタル類）、夏季、秋季、冬季に各1回 令和7年度に両生類を対象とした調査を早春季、春季、夏季に各1回
供用後	生態系 テン・タヌキによるコナラ群落の利用状況の確認	当初								※動物の事後調査に併せて実施
	生態系 コナラ群落の林床環境	当初								※植物の事後調査に併せて実施
	大気質 塵芥車両 二酸化窒素・浮遊粒子状物質	当初		■	■					第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、益・春彼岸の2回、朴沢集会所1地点
	騒音 塵芥車両 騒音レベル	当初		■	■					第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、春彼岸と平常時（10月を想定）の2回、朴沢集会所と管理事務所2地点（※平常時は管理事務所のみ）
	騒音 放送設備 騒音レベル	当初								工事終了の令和23年度、冬季工事のない平日に1回、工事の進捗に応じて調査時期を見直し
	交通量 塵芥車両 台数	当初		■	■					第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、春彼岸と平常時（10月を想定）の2回、朴沢集会所と管理事務所2地点（※平常時は管理事務所のみ）
	振動 塵芥車両 振動レベル	当初		■	■					第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、春彼岸の1回、朴沢集会所と管理事務所2地点
	水質 BOD、窒素、リン	当初		■	■					保全対策の効果確認のための令和4年度、管理事務所の便所利用ピークの令和2年度、第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、益・春彼岸・平常時（8月を想定）に各1回、3地点
	水象 水象 河川流の状況	当初		■	■					第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、平常時3回・降雨時2回、平常時1地点、降雨時3地点
	水象 水系の状況	当初								第2期貸出5割の令和314年度、第2期貸出終了の令和1445年度、夏季、冬季の2回、各水系11地点
廃棄物等 枯れ花、刈草等処理量	当初		■	■					第2期貸出5割になる令和314年度、第2期貸出が終了となる令和1445年度に管理記録等により確認	

## 第8章 事後調査の項目、手法及び対象とする地域、事後調査の結果

今回事後調査を実施した項目は表 8-1 に示すとおり、工事終了後の調査（平成 30 年度～令和 2 年度に実施した 2 工区造成工事による影響を確認するための事後調査）として、令和 5 年度の事後調査において事業影響の可能性が示唆された植物と動物を対象に、「植物 植物相及び注目すべき種の生育状況」及び「動物 動物相及び注目すべき種の生息状況、法面の利用状況」の調査を追加で実施した。

なお、動物の「法面の利用状況」は前回調査で目標達成していることから、今回調査では「動物相及び注目すべき種の生息状況」項目のみの調査を実施した。

また、XXXXXXXXXXで設置し、XXXXXXXXXXとして維持している。

表 8-1 今回実施した事後調査（令和 7 年度）

項目		H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
（工事終了後含む）	水象 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の状況					■		
	動物 注目すべき生息地 両生類・水生昆虫					■		
存在・供用	植物 植物相及び注目すべき種の生育状況					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	植物 植生及び注目すべき群落、法面の植生の状況					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	植物 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> の水生植物の生育状況					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	植物 森林等の環境保全機能					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	動物 動物相及び注目すべき種の生息状況、法面の利用状況					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	生態系 テン・タヌキによるコナラ群落の利用状況の確認					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
	生態系 コナラ群落の林床環境					■ ■ ■ ■ ■		■ ■ ■ ■ ■
項目		H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度

※この表は、表 7-2 から今回の該当部分を抜粋したものである。今回調査で実施した項目は、赤枠（□）で示す。

## 第1節 植物

植物の事後調査項目は、「植物相及び注目すべき種の生育状況」の1項目であり、調査概要については次頁より示す。

注目すべき種の設定根拠は、表8-1-1に示すとおりである。

表8-1-1 注目すべき種の選定根拠

番号	選定基準	カテゴリー	
①	文化財保護法（昭和25年、法律第214号）（令和7年6月1日改正） 「宮城県文化財保護条例」（昭和50年12月25日 条例第49号） 「仙台市文化財保護条例」（昭和37年10月13日 条例第27号）（令和5年4月1日改正）	国特：国指定特別天然記念物 国天：国指定天然記念物 県天：宮城県指定天然記念物 市天：仙台市指定天然記念物	
②	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日 法律第75号）（令和7年6月1日改正）	国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種	
③	【植物】 「環境省第5次レッドリスト（植物・菌類）」（令和7年3月18日 環境省発表）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類	VU：絶滅危惧II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群
	【動物】 「環境省レッドリスト2020」（令和2年3月27日 環境省発表）		
④	「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2024年版-」（2024年3月29日 宮城県）	EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧I類 CR：絶滅危惧IA類 EN：絶滅危惧IB類	VU：絶滅危惧II類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 要：要注目種
⑤	「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」（令和4年2月 仙台市）において「学術上重要な種」、「減少種」、「環境指標種」及び「ふるさと種」 ※「減少種」は「山地地域」（（山）と記載）及び「西部丘陵地・田園地域」（（西）と記載）においてA、B、Cとされている種	<b>【学術上重要な種】</b> 1：仙台市においてもともと希産あるいは希少である種。あるいは生息地・生育地がごく限られている種 2：仙台市周辺地域が分布の北限、南限等の分布限界となる種 3：仙台市が模式産地（タイプロカリティー）となっている種 4：1、2、3には該当しないが、各分類群において、注目に値すると考えられる種（継続的に観察・研究されている個体群が存在する種など） <b>【減少種】</b> A：現在、ほとんど見ることができない、あるいは近い将来ほとんど見ることができなくなるおそれがある種 B：減少が著しい、あるいは近い将来著しい減少のおそれがある種 C：減少している、あるいは存続基盤が脆弱で、生息・生育条件の変化によっては上位ランクに移行する要素を有する種 <b>【環境指標種】</b> 環境：本市の各環境分類における環境の指標種（ビオトープやミティゲーションにおける計画・評価のための指標） <b>【ふるさと種】</b> ふるさと：市民に親しまれている（よく知られている）種のうち、保全上重要な種。	

## 1. 植物相及び注目すべき種の生育状況

### 1) 調査内容

2 工区工事後の植物相及び注目すべき種の生育状況を調査し、工事前の平成 20 年の調査結果と比較することにより、工事後も「注目すべき種の生育状況に大きな変化がみられないこと」という保全目標の達成状況を確認した。

### 2) 調査方法

令和 5 年度に実施した事後調査にて未確認または個体数が減少していた種（計 31 種）を対象に、生育位置、個体数、生育状況等を記録した。

今回調査で対象とした「注目すべき種」を以下に示す。

#### 【影響が想定される注目すべき種：計 6 種】

シケチンダ・アイアスカイノデ・ホッスモ・カンガレイ・ソヨゴ・アワコガネギク

#### 【影響が生じないとされた注目すべき種：計 25 種】

ヒメザゼンソウ・オモダカ・オヒルムシロ・コオニユリ・キンセイラン・ヒメノヤガラ・アオスズラン・ジガバチソウ・クモキリソウ・ヒメシャガ・オオウシノケグサ・カザグルマ・シラネアオイ・ユキノシタ・ザイフリボク・キツネヤナギ・ナガハシスミレ・メグスリノキ・アカイタヤ・ナズナ・カワラナデシコ・サクラソウ・フトボナギナタコウジュ・オオナンバンギセル・イワヨモギ

### 3) 調査地域

調査地域は、図 8-1-1 に示すとおり、第 2 期事業区域及びその周辺部とした。

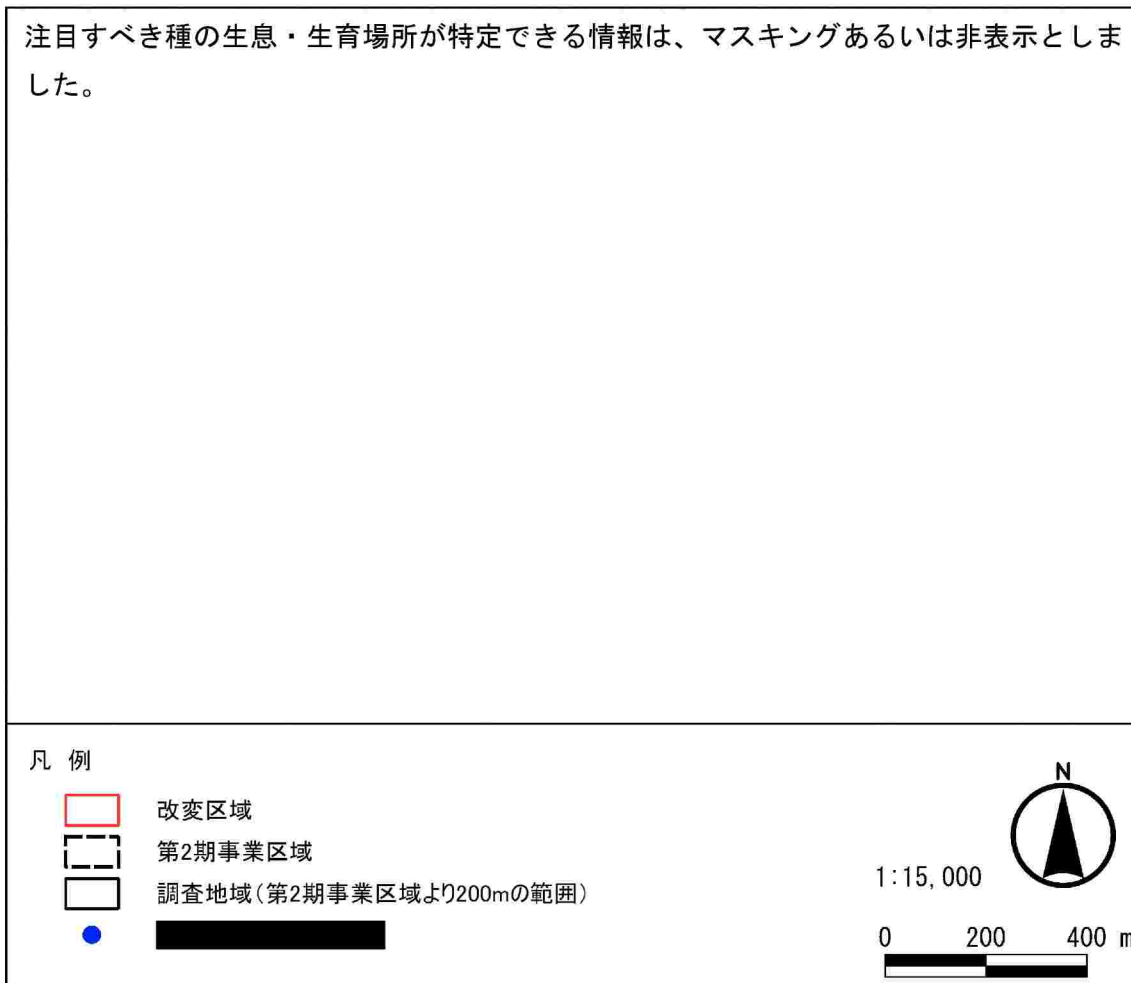


図 8-1-1 調査地域

### 4) 調査期間・時期・頻度等

今回の植物調査は、早春季・春季・夏季・秋季の計 4 回実施した。

調査期間等を表 8-1-2 に示す。

表 8-1-2 調査期間・時期・頻度等

項 目	調査時期、期間	頻 度
植物相及び注目すべき種の 生育状況	早春季 令和 7 年 4 月 21 日、22 日、23 日	各時期 1 回
	春季 令和 7 年 5 月 26 日、27 日、28 日、29 日	
	夏季 令和 7 年 8 月 5 日、6 日	
	秋季 令和 7 年 10 月 7 日、8 日	

## 5) 調査結果

調査結果の概要を以下に、調査結果一覧を表 8-1-3 に、注目すべき種の確認位置を図 8-1-2 に示す。

### 【調査結果の概要】

- 今回調査では、対象とした注目すべき種の計 31 種のうち、計 19 種が確認された。
- 今回調査で確認された種のうち、シケチシダ (移植个体確認)・ホッスモ ( [REDACTED] で確認)・オヒルムシロ ( [REDACTED] で確認)・オオウシノケグサ・ユキノシタ (新地点で確認)・キツネヤナギ・ナズナ・カワラナデシコ (新地点で確認)・ソヨゴ (移植个体確認) の計 9 種は、前回 (令和 5 年) 調査では確認されなかったが、今回調査で再確認された。
- 確認された上記種以外のヒメザゼンソウ・クモキリソウ・ヒメシャガ・カンガレイ・カザグルマ・ザイフリボク・ナガハシスミレ・メグスリノキ・サクラソウ・フトボナギナタコウジュの計 10 種は、前回 (令和 5 年) 調査よりも確認数が多かった。
- 今回調査で確認されなかった計 12 種については、前回 (令和 5 年) 調査でも確認されていない種であった。
- 確認されなかった種のうち、アイアスカイノデ (移植个体消失)・コオニユリ・キンセイラン・ヒメノヤガラ・アオスズラン・アワコガネギク (移植个体消失) の計 6 種は、評価書で確認されていた生育地または隣接地が伐採され、生育環境の変化がみられた (アイアスカイノデの移植先は令和 5 年調査時で伐採確認、アワコガネギクの移植先は今回調査で伐採確認、その他種については伐採時期不明)。

### 【確認された注目すべき種】



シケチシダ



ヒメザゼンソウ



ホッスモ



オヒルムシロ



クモキリソウ



ヒメシャガ

【確認された注目すべき種】



カンガレイ



オオウシノケグサ



カザグルマ



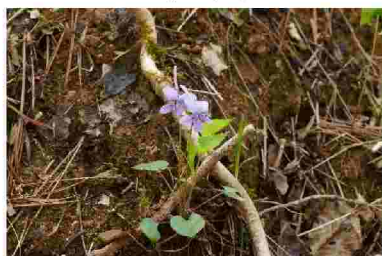
ユキノシタ



ザイフリボク



キツネヤナギ



ナガハシスミレ



メグスリノキ



ナズナ



カワラナデシコ



サクラソウ



フトボナギナタコウジュ



ソヨゴ

表 8-1-3 調査結果一覧

No.	科名	種名	学名	調査結果(確認個体数)					注目すべき種 <sup>注1)</sup>						
				既往調査		今回調査(令和7年)			I	II	III	IV	V		
				評価書 (平成22年)	前回調査 (令和5年)	事業 区域内	事業 区域外	計							
1	メシダ	シケチシダ	<i>Athyrium decurrentialatum</i>	7		12		12					要注	1, 2	
2	オシダ	アイアスカイノデ	<i>Polystichum longifrons</i>	約20										2	
3	サトイモ	ヒメザゼンソウ	<i>Symplocarpus nipponicus</i>	多数	3	139	238	377						B(西)	
4	オモダカ	オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>	多数										C(西)、環境	
5	トチカガミ	ホッソモ	<i>Najas graminea</i>	約30		9		9					VU	B(山)	
6	ヒルムシロ	オセルムシロ	<i>Potamogeton natans</i>	個体数不明		5		5						C(西)、環境	
7	ユリ	コオニユリ	<i>Lilium leichtlinii</i> f. <i>pseudotigrinum</i>	1										B(西)	
8	ラン	キンセイラン	<i>Calanthe nipponica</i>	11									VU	CR+EN	1, B(西)
9		ヒメノヤガラ	<i>Chamaegastrodia sikokiana</i>	1									VU	VU	1
10		アオズラン	<i>Epipactis helleborine</i>	7										VU	1, A(西)
11		ジガバチソウ	<i>Liparis krameri</i>	1										NT	C(西)
12		クモキリソウ	<i>Liparis kumokiri</i>	10	5	7	21	28							1, 4, B(西)
13	アヤメ	ヒメシヤガ	<i>Iris gracilipes</i>	約3,453	約2,062	約3,810	約1,897	約5,707					NT	NT	B(西)、環境
14	カヤツリグサ	カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangularata</i>	約20	2	32		32						B(西)	
15	イネ	オオウシノケグサ	<i>Festuca rubra</i>	個体数不明		約60	87	約147						4, B(西)、環境	
16	キンボウゲ	カザグルマ	<i>Clematis patens</i>	約175	13	118	189	307					NT	VU	1, B(西)
17		シラネアオイ	<i>Glaucidium palmatum</i>	1										NT	B(山・西)、環境
18	ユキノシタ	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>	3			約100	約100						B(西)	
19	バラ	ザイフリボク	<i>Amelanchier asiatica</i>	多数	2	2	9	11						1, B(西)	
20	ヤナギ	キツネヤナギ	<i>Salix vulpina</i> ssp. <i>vulpina</i>	個体数不明		2	4	6						C(西)、環境	
21	スマレ	ナガハシスマレ	<i>Viola rostrata</i> var. <i>japonica</i>	多数	3	355	475	830						1, B(西)	
22	ムクロジ	メグスリノキ	<i>Acer maxinowiczianum</i>	7	2		8	8						1, B(西)	
23		アカイタヤ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mayrii</i>	個体数不明											C(西) <sup>注2)</sup>
24	アブラナ	ナズナ	<i>Capsella bursa-pastoris</i>	多数		1	166	167						B(西)、環境	
25	ナデシコ	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>	1			20	20						C(西)	
26	サクラソウ	サクラソウ	<i>Primula sieboldii</i>	約624	176	25	242	267				NT	CR+EN	1, A(西)、環境	
27	シソ	フトボナギナタコウジュ	<i>Elsholtzia nipponica</i>	約200	11	65	25	90						1, 2	
28	ハマウツボ	オオナンバンギセル	<i>Aeginetia sinensis</i>	1										1, B(山・西)	
29	モチノキ	ソゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>	1			1	1					NT	1, 2, C(西)	
30	キク	イワヨモギ	<i>Artemisia gmelinii</i>	個体数不明									VU		
31		アワコガネギク	<i>Chrysanthemum seticuspe</i> f. <i>boreale</i>	4									NT	NT	C(西)
計	24科	31種	—	31種	10種	15種	15種	19種	0種	0種	7種	12種		30種	

※1: 種の分類については、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト(令和7年度版)」に準じた。

注1) 注目すべき種の選定基準を以下に示す。なお、該当するランクは、赤字で示す。

I. 「文化財保護法」(昭和25年5月30日 法律第214号)(令和7年6月1日改正) / 「宮城県文化財保護条例」(昭和50年12月25日 条例第49号)

— 「仙台市文化財保護条例」(昭和37年10月13日 条例第27号)(令和5年4月1日改正)

国特: 国指定特別天然記念物 国天: 国指定天然記念物 県天: 宮城県指定天然記念物 市天: 仙台市指定天然記念物

II. 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日 法律第75号)(令和7年6月1日改正)

国際: 国際希少野生動植物種 国内: 国内希少野生動植物種

III. 「環境省第5次レッドリスト(植物・菌類)」(令和7年3月18日 環境省発表)

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN)、絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、

絶滅のおそれのある地域個体群(LP)

IV. 「宮城県の希少な野生動植物-宮城県レッドリスト2024年版-」(2024年3月29日 宮城県)

絶滅(EX)、野生絶滅(EW)、絶滅危惧 I 類(CR+EN)(絶滅危惧 I A類(CR)、絶滅危惧 I B類(EN))、

絶滅危惧 II 類(VU)、準絶滅危惧(NT)、情報不足(DD)、絶滅のおそれのある地域個体群(LP)、要注目種(要注)

V. 「令和3年度 仙台市自然環境に関する基礎調査 報告書」(令和4年2月 仙台市)

学術上重要種: 1, 2, 3, 4 減少種(山地地域(山)、西部丘陵地・田園地域(西)): EX, EW, A, B, C 環境指標種(環境) ふるさと種(ふ)

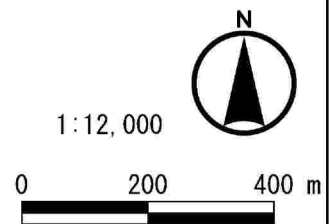
※V. 「減少種」については、既往調査報告書と同様に山地地域(山)及び西部丘陵地・田園地域(西)で指定されている種を対象とした。

注2) イタヤカエデ(広義)として該当する。

注目すべき種の生息・生育場所が特定できる情報は、マスキングあるいは非表示としました。

凡 例

- |   |   |   |       |
|---|---|---|-------|
|  | 変更区域  |  | シケチシダ |
|  | 第2期事業区域   |  | ホツスモ  |
|  | 調査地域(第2期事業区域より200mの範囲)  |  | カンガレイ |
|  |  |  | ソヨゴ   |












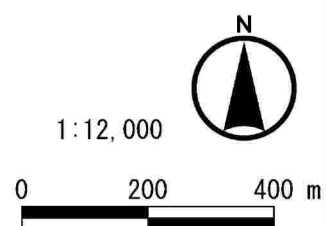
※図内の数値は確認数を示す。

図 8-1-2 (1) 注目すべき種の確認位置図 (影響が想定される注目すべき種)

注目すべき種の生息・生育場所が特定できる情報は、マスキングあるいは非表示としました。

凡 例

- |   |   |   |         |
|---|---|---|---------|
|  | 改変区域  |  | ヒメザゼンソウ |
|  | 第2期事業区域   |  | オヒルムシロ  |
|  | 調査地域(第2期事業区域より200mの範囲)  |  | クモキリソウ  |
|  |  |  | ヒメシャガ   |










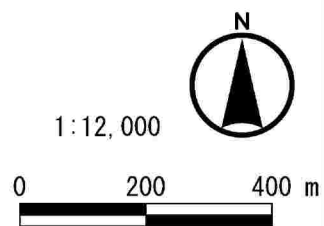
※図内の数値は確認数を示す。

図 8-1-2(2) 注目すべき種の確認位置図 (影響が生じないとされた注目すべき種)

注目すべき種の生息・生育場所が特定できる情報は、マスキングあるいは非表示としました。

凡 例

- |   |   |   |          |
|---|---|---|----------|
|  | 改変区域  |  | オオウシノケグサ |
|  | 第2期事業区域   |  | カザグルマ    |
|  | 調査地域(第2事業区域より200mの範囲)   |  | ユキノシタ    |
|  |  |  | ザイフリボク   |












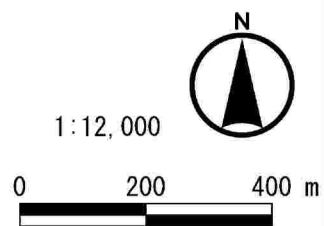
※図内の数値は確認数を示す。

図 8-1-2(3) 注目すべき種の確認位置図 (影響が生じないとされた注目すべき種)

注目すべき種の生息・生育場所が特定できる情報は、マスキングあるいは非表示としました。

凡 例

- |   |   |   |         |
|---|---|---|---------|
|  | 改変区域  |  | キツネヤナギ  |
|  | 第2期事業区域   |  | ナガハシスミレ |
|  | 調査地域(第2期事業区域より200mの範囲)  |  | メグスリノキ  |
|  |  |  | ナズナ     |



※図内の数値は確認数を示す。

図 8-1-2(4) 注目すべき種の確認位置図 (影響が生じないとされた注目すべき種)